

予算編成過程のネット公表

大阪府

人口：8,676,622人

面積：1,897.85km²

担当部署：府政情報室広報課

概要

「透明度日本一の府政」をめざす取り組みとして、平成 21 年度当初予算編成から、要求段階から決定まですべての予算編成過程についてホームページでの公表を開始した。

選定理由

（総務省コメント）

予算要求過程から詳細に情報提供することにより、透明性の確保に努めている点、予算要求書においては住民にわかりやすい形で作成し、ホームページにおいては用語説明やQ & A、編成プロセスも掲載するなど、住民にわかりやすい形で提供することにより、住民の府政への関心を高めることに努めている点を評価し、選定した。

背景

大阪府では、府政に対する府民の信頼を深めるため、府政情報、意思決定過程を積極的に公表する取り組みを進め、透明度日本一の府政をめざしている。

その取り組みの大きな柱のひとつとして、最も重要かつ基本的なプロセスである予算編成過程を公表することとした。

具体的内容

平成 20 年度本格予算編成から、予算編成過程の公表として要求書・査定書を大阪府府政情報センターに開架、平成 21 年度当初予算編成からホームページでも公表を開始した。

【参考：予算編成過程公表サイト画面】

大阪府 Osaka Prefectural Government

Google カスタム検索 検索 文字サイズ 縮小 標準 拡大

予算編成過程公表サイト

大阪府トップ > 予算編成過程公表トップ

さがす

キーワードでさがす

検索

参考

予算編成の流れ

用語解説

QA

予算編成過程の公表

大阪府では、府民の皆様に開かれた予算編成を行うため、編成過程の財政課長要求・査定、総務部長要求・査定、知事要求・査定がそれぞれ終了した段階において、各部署からの要求事業内容及びその査定状況を公開しています。

○ このサイトでは、それぞれの会計（一般会計、特別会計、企業会計）ごとに、予算編成過程における各段階（財政課長要求・査定、総務部長要求・査定、知事要求・査定）の内容を要求・査定後に公開しています。

予算編成過程公表内容

平成22年度

平成21年度

参考情報

予算編成の流れ

用語解説

QA

お問い合わせ | ユニバーサルデザインについて | 個人情報の取り扱いについて | このサイトのご利用について

大阪府 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 情報プラザ | 相談窓口 | 府庁への行き方

© Copyright 2003-2009 Osaka Prefecture, All rights reserved.

ホームページでの公表は、以下の3つの考え方に基づいている。

1. 詳細に

予算要求書・査定書・総括表（各部署における事業一覧と要求額・査定額合計）をすべて公開。

2. 迅速に

財政課長・総務部長・知事の各要求・査定段階ごとに公表。

3. わかりやすく

- ・キーワード検索、組織からの検索

予算事業名や予算要求書の事業概要からのキーワード検索や、予算要求（計上）を行った組織から事業の選択を可能にした。

- ・関連情報へのリンク

事務事業（大阪府総合計画における施策の事業単位）へリンクを掲載することで、行政計画のホームページ、関連事業のホームページの閲覧が容易となるよう工夫。

取組中の課題・問題点

- 予算編成過程公表システムの新たな構築
予算要求書の作成など予算編成を行うために使用している「予算編成支援システム」は、庁内専用システムで、府ホームページに公表する機能が無いため、新たに予算編成過程を公表するシステムの構築が必要となった。
- 府民にわかりやすい予算要求書の作成
これまで主に「財政課」を意識して作成することが多かった予算要求書を、府民にわかりやすい予算要求書に改める必要があった。そのため、財政課が、予算要求時に「予算編成過程公表に向けたチェックリスト」を作成し、わかりやすい予算要求書の作成について全庁に周知した。

工夫点

- 各段階の予算要求書、査定書の公表開始時期を報道機関へ資料提供し、広く府民に周知。
- 予算編成の仕組みを府民にわかりやすく説明するため、「予算編成の流れ」「用語説明」「Q&A」を参考情報として掲載。
- 大阪府施策集の事務事業、所属トップページに予算編成過程のリンクを掲載。
- 職員の負担が生じないようなシステムを構築。新たに必要となる作業は次の2点。
 - ①「公表サーバへ転送ボタン」のクリック
 - ②公表画面の事前確認

効果

- 従来は、知事が決定した当初予算案を公表していたが、各事業の要求段階から内容を公開することで、予算がどのように決まっていくかを府民にわかりやすく説明することとした。それにより府の事業が府民にわかりやすく身近なものとなった。
- 以前は、府政情報センターへ府民が出向き、予算要求書、査定書を閲覧する必要があったが、ホームページで公表することで、府政情報センターへ出向く必要がなくなるとともに、時間に関係なく予算編成過程を見ることができるようになり、府民の利便性が大きく向上した。

住民（職員）の反応・評価

予算要求の段階から新聞等メディアで取り上げられることが多くなり、府民の府政への関心が高まった。

副次的には、全職員が全部局の要求事業を閲覧できるようになり、職員からは他部局の関連事業や類似事業に関する情報収集や事業連携の検討がしやすくなったとの声もある。

フォローアップ

平成 21 年度当初予算編成に引き続き、平成 21 年度補正予算、平成 22 年度当初予算の編成過程もホームページで速やかに公表。

今後の課題

現在、公表を始めて 1 年であるため、今後課題や問題点の整理を行っていく。

今後取り組む自治体に向けた助言

自治体に対する住民の信頼を深めるためには、自治体の情報、意思決定過程を積極的に公表することが重要な取り組みであり、予算編成過程の公表はその大きな役割を果たすと考える。

アドレス

<http://www.pref.osaka.jp/yosan/>